

No	26	分類	2-(1)-ア	資料名	ぞうれっしゃが やってきた	学年	2年	領域	国語
----	----	----	---------	-----	---------------	----	----	----	----

### 1 ねらい

- 挿絵を手がかりに、事柄の順序や場面の移り変わりに注意して文章を読み取り、登場人物の気持ちや情景を想像することができる。
- 象の命を守りぬいた園長さんの生き方から、戦争の悲惨さとともに、生命や平和の大切さが分かる。
- 象に会いたいという子どもたちの願いをかなえるために努力した人々のやさしさが分かる。

### 2 趣旨

- 原文は長文なので、8場面の絵話に再構成している。指導にあたっては、原文で補足しながら豊かに想像させる。
- 挿絵も手がかりにしながら、戦争の犠牲となって失われていった動物たちの命や、生きのびた2頭の象のかけがえのない命などを捉えさせ、生命の尊さについて考えさせる。
- 象を命がけで守ろうとした園長さんたちの努力や、「ぞうれっしゃ」でやってきた子どもたちの喜びから、生命や平和の大切さについて感じ取らせる。
- 児童にとって親しみやすく、楽しい場所である動物園での悲しいできごとを通して、戦争の悲惨さに気づかせ、生命や平和を大切にしようとする心を育てる。

### 3 指導計画 全2時間

#### (1) 第1次

挿絵を見て、場面の移り変わりに沿って、戦争の悲惨さや命の大切さについて考える。

#### (2) 第2次

象の命を守りぬいた動物園の人たちの努力や象に出会えた子どもたちの喜びから、平和の大切さに気づく。

### 4 配慮事項

- 戦時中の学校や地域の様子などを各校の実情に合わせて補足説明することにより、児童に戦争の関係性を意識させる。

### 5 展開例

#### 【第1次】

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 動物園の好きな動物について自由に話し合う。	・動物園に動物がいなくなった時代があったことを紹介し、話への興味をもたせる。
2 挿絵を見ながら「ぞうれっしゃが やってきた」の話を聞く。	・ゆっくりと気持ちを込めて読み聞かせる。
3 場面ごとの人物の気持ちを考える。 ・象との別れを惜しむお姉さんたちとそれを見守る園長 ・幼い子どもを残して、戦争に行くお父さん ・毒入りのえさで、トラを殺さなければならぬ飼育係 ・キーコとアドンを死なせてしまった飼育係 ・軍馬のえさを命がけで盗んだ飼育係	・日本中の人々が戦争に巻き込まれた時代であったことを伝える。 ・戦争により動物たちの命が奪われたことをしっかりと捉えさせる。 ・園長さんや飼育係の人たちの苦しい立場や心情をつかませたい。 ・軍馬のえさを抜き取って象に与える行動が命がけであったことを知らせる。
4 心に残ったことを話し合う。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           どんなことが心に残りましたか。         </div>	

【第2次】

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 挿絵を見ながら、もう一度「ぞうれっしゃが やってきた」を読む。</p> <p>2 場面ごとに読み進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マカニーとエルドが生き残ったときの飼育係や園長の気持ち</li> <li>・東京の子ども議会から手紙が届いた理由</li> <li>・象列車に乗る子どもたちの気持ち</li> </ul> <p>3 心に残ったことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちを込めて読み聞かせる。</li> <li>・自分たちの命をかけて守りぬいた象が生き残った喜びに迫らせる。</li> <li>・日本中の動物園で同じように動物が犠牲になったことを捉えさせる。</li> <li>・長い戦争のため象を見たことがない子どもがたくさんいたことを伝え、子どもたちの喜びに共感させる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">心に残ったことを話し合しましょう。</div>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争の悲惨さと、生命や平和の大切さを考えさせる。</li> </ul>

6 参考

- 原文 平成13年発行小学校低学年用『ほほえみ』活用の手引き P.41～ 参照